編集後記

◇ミニバラNo.6をお送りします。今号は目下育児に奮闘中の大城明日香姉に無理を言って、ご寄稿頂きました。何時も大らかに、お子さん方を育てておられるお姿には、本当に感心させられます。主のみ守りのもと、ご家庭が益々祝されますようお祈り致します。

◇８月６日の原爆投下の日を覚えて、今年は武田豊子姉に、貴重な証言となる一文を草して頂きました。あの信じ難い異常な出来事が、まるでなかったかのように、軽々しく核戦略を論じる世界が、途轍もなく異常なものに見えてきます。当日行われた平和記念式典には、前々日より広島に来ておられた木村直子姉と一緒に参列しました。暑い一日でしたが、あの暑さの上に、被爆者は、その何倍もする原爆の光熱を浴びたのだと思うと、もう想像力が働かなくなってしまいます。あのような凶器を生み出し、実際にも使ってしまう、人類とは一体何なのかと思わざるを得ません。「主よ、人類を憐れみ給まえ」。

◇台風１８号が接近しつつあった９月７日枝松なつ代姉の母上三浦千代さんが、ご自宅でなつ代姉に看取られながら、静かに天に召されました。８日にご自宅で前夜祈祷会、９日には教会で葬儀式が営まれました。見事に人生を締め括られると共に、ご自身の死をもって大きな証をしていってくださいました。

◇大阪で開かれた近畿中連婦修養会には、西宮から教友の八田順子姉が、神戸からは工藤涼二、久美子兄姉が馳せ参じてくださって、千人力の応援を得た思いでした。当日のことは、お疲れのところを、大城企余子姉にご報告を頂きました。皆様のご協力に心から感謝致します。（三輪恭嗣）